

# 高梁市議会だより

第33号  
2018年2月

## 高梁市地域おこし協力隊活動報告会



12月定例会報告	2
全員協議会開催	4
一般質問 ここが聞きたい	5
TOPICSあの議論はどうなった? 「防災ラジオ」	12

# 12月議会を開催しました

平成29年第5回高梁市議会定例会が、12月4日から22日までの19日間、開催されました。市長提出の議案14件のうち、1件を認定、13件を原案通りの可決としました。また、団体などから議会に寄せられた請願については、1件を不採択としました。

一般会計補正予算として1億6585万9000円が計上され、総額236億9810万1000円（前年度比マイナス7.5%）とする議案を含め、議案14件が市長から提出され、審議の結果全て原案通り可決しました。また請願については賛成少数で不採択となりました。

本会議初日終了後には、平成30年度の予算要求概要として、一般会計では、歳入予算要求額が223億4378万4000円、歳出予算要求額が242億5401万1000円であり、予算要求段階では19億1022万7000円の収支不足であり、無駄を徹底的に

洗い出す取り組みについて報告がありました。

一般質問では、議員13名が39項目にわたって市政について質問しました。

議会最終日には、平松賢司議員が討論を行いました。討論の内容は次のとおりです。

**「平成29年度高梁市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）」について**

当初一般会計から繰入を計画していたが投入せず、昨年度国保税引き上げがある中で3000万円国保基金に積み上げた。市民負担の軽減に努めるべきであり、この議案には反対する。

**「日本政府に核兵器禁止条約の調印を求める意見書採択を求める請願」について**

本年のノーベル平和賞に国際NGO「ICANN」が授賞され、世界の流れは核兵器廃絶に向かっています。世界の多くの国々からも日本政府の態度に厳しい目が向けられているなか、条約の調印を求めるべきで請願の採択を求める。

最終日に市長から、「成羽複合施設（仮称）がこれから実施設計に移り、新年度予算で建設に係る事業費などを計上する予定です。節目節目において議会の皆様、関係団体、市民の皆様

に対して説明の機会を設け、事業を進めていきたいと考えています。公共施設等の総合管理計画についても、今後の公共サービスのあり方の中で、行財政改革と合わせ、また財政計画とも合わせて再配置等に向けて検討していきたい。」と挨拶がありました。



## 12月定例会で賛否が分かれた議案等の議決結果

○：賛成 ●：反対 欠：欠席

件名	森	平松	伊藤	森上	石部	三村	石井	黒川	石田	内田	宮田好	小林	倉野	川上修	川上博	宮田公	大月
平成29年度高梁市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	○	●	○	○	●	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
日本政府に核兵器禁止条約の調印を求める意見書採択を求める請願	●	○	●	●	○	●	●	●	●	欠	○	●	●	●	●	●	●

◎他の議案は全会一致で可決しました。◎議長は裁決に加わりません。



**総務文教委員会**  
**請願は不採択に**

**平成29年度高梁市一般  
 会計補正予算(第4号)**

**委員** 成羽総合福祉センターの施設等除去工事費、高梁市民体育館前の工作物移転補償費について積算が甘いのではないか。

**執行部** 成羽総合福祉センターにおいては屋上の空調設備と地中梁撤去での補正であり、高梁市民体育館前については、木造と認識していた躯体が一部木造でなかったための補正である。

**委員** 今後の施設解体には目視だけでなく図面と照らし合わせるのほもちろん、しっかりとした積算を望む。

**日本政府に核兵器禁止  
 条約の調印を求める意見  
 書採択を求める請願**

世界の流れは核兵器廃

絶であり、日本が批准するために、意見書採択を求めるとの意見や、国の判断に委ねるべきで、当市議会が、あえて意見書を出す必要はないのではないかとの意見があり、採決の結果不採択となりました。



**産業経済委員会**  
**道路建設を正す**

**平成29年度高梁市一般  
 会計補正予算(第4号)**

**委員** 落合高倉線で3380万円の補正があがっている、法面の工事で3月末完成と聞いているが、間に合うのか。

**執行部** 工程的に厳しいかもしれないが3月末を目指して精一杯努力していく。

**委員** 地域住民からも早期の通行止め解除の声をいただいている、委員会としても注視していき



**市民生活委員会**  
**保育士人材確保を**

**平成29年度高梁市一般  
 会計補正予算(第4号)**

**委員** 私立保育所委託料は、単価改定の見直しによる補正だと聞いている。保育士の給与だけを特別扱いするのは難しいかもしれないが、公立保育園でも単価改定による職員の処遇改善はあるのか。また、保育士の確保を市は考えているか。

**執行部** 保育士の給与は、市の給与条例に基づいて支払っている。保育士の人材確保は現在非常に厳しい状況にあるので多方面から人材確保の方法を考えている。

**議会  
 報告会**

**第9回議会報告会を  
 開催しました**

11月7、8、13、14日 計140人でした。

この報告会は、議会基  
 本条例に基づいて、情報  
 公開すると同時に、高  
 梁市全体の諸問題を議員  
 全員が把握し、政策提案  
 に生かしています。市民  
 からいただいた意見は、  
 議会広報公聴特別委員  
 会で取りまとめ、担当課  
 や担当委員会へ伝えると  
 ともに、議員個人が一般  
 質問で取り上げることが  
 あります。



↑川面会場の様子

若い年代の参加者が少ないなど課題も多くありますが、今後も、市民の声を市政に反映するための場所として、さまざまな地域、年代、立場の人たちから話を聞くために活動を続けていく予定です。

# 全員協議会を開催しました（12月15日）

過年度災害復旧工事等に係る未払金調査特別委員会の中間報告と、地方議会議員の厚生年金への加入について話し合いました。

## 1 調査特別委員会の中間報告について

過年度災害復旧工事等に係る未払金調査特別委員会（以下調査特別委員会と記す）からの調査中間報告が全員協議会で行われました。「高梁市議会だより第32号」でもお伝えしたとおり、調査特別委員会では

- ① 工事関係資料の再確認
- ② 職員の関与
- ③ 発生原因の究明
- ④ 再発防止策

にポイントを置いて調査を進めています。

今回の全員協議会までに12回の委員会を開催しており、節目を迎えたことから中間報告が行われました。報告では、9名の委員全員で精査したところ、資料やその計数面が大きく逸脱する工事はなかったとの説明がありました。しかし、書類等に日付が的確に記載されていないことから事後検証に困難をきたしていることや、コンプライアンスに係る問題があること、また、早急な管理体制の厳格化、業務フローの改善が望まれることなどが指摘されました。その上で、中間報告としては、今後いっそう議論を深めていかなければならないと締めくくっています。

これに対して、議員からは、秘密会とされた理由について質問がありました。委員長からの答弁は、特別委員会は議会の

議決に基づいて設置されたものであり、特別委員会として個人情報保護の観点から秘密会にするという議決を経ているというものでした。

また、他の議員から工事担当者一人一人から聞き取りをしたのかとの質問があり、委員長からは、職員による説明と関係書類等によって工事の有無や内容は把握できたとの答弁がありました。

## 2 地方議会議員の厚生年金加入について

従来の地方議会議員の年金制度は平成23年度に廃止されています。しかし、今日の地方議会議員

は、これまで以上に地方行政の広範かつ専門的な諸課題について住民の意向をくみ取り、的確に執行機関の監視や政策提言等を行うことが求められている一方で、住民の関心が低い現状や、地方議会議員のなり手不足は深刻な問題となつています。

このため、全国市議会議長会が地方議会議員の厚生年金への加入に関して国に要望をすることとなり、その一環として高梁市議会にも意見書提出の依頼がありました。

これに対して、議員からは、財政が厳しい高梁市の議員としては賛同できないとの意見、厚生年金の加入と地方議会議員のなり手不足解消とは関

係がないとの意見、また、自営業者は国民年金で地方議会議員が厚生年金加入では不公平であるとの意見が寄せられました。

また、生活基盤の安定があつて初めて議員の仕事にも打ち込むことができる、特に若者や子育て世代には必要ではないかとの意見や、本市だけではなく全国的な視点で考えるべきであるとの意見もありました。

今回の意見交換を踏まえて、議会運営委員会で再度議論を行うことになっていきます。

**農業振興** 平松 ブドウの栽培を行っている農家数と栽培面積は平成23年と比べ、どうなっているのか。

**産業経済部長** 現在は426戸、105.2ヘクタールで、戸数が若干減少している。

**平松** 栽培に必要なブドウ棚は1反当たり200万円と高額で、内訳は資材費が3分の2で残りが工事費である。現在、補助は資材費の2分の1であるが、全体の2分の1に拡充できないか。

**産業経済部長** 地域特産作物生産団地育成事業費補助金の補助率は2分の1となっているが、5年先の経営計画を策定している認定農業者や認定新規就農者が栽培面積を拡大する場合、補助率を3分の

2まで引き上げて支援している。

**ごみの個別収集の実施** 平松 ごみ出しが困難な世帯があるのを把握しているのか。

**市民生活部長** 町内会支援制度の取り組みで、55町内会がごみ出しに困っているとあり、内10町内会が支え合い奨励金事業で、ごみ出しを行うとあった。

**平松** ごみ出し困難で町内会の支援もできない場合、市は個別収集をすべきであると考えられるか。

**市民生活部長** 現在、1452カ所のごみステーションがあり、日を決めて収集している。町内会支援制度で全て対応できるとは考えていない。社会福祉協議会のちよこつとお助けサービスや介護保険関連の事業などと連携して対応していきたい。

**Q.** ブドウ栽培に必要な不可欠で費用的に高額なブドウ棚の設置費補助金を拡充できないか

**A.** 条件によっては、補助率を3分の2まで引き上げている



平松 賢司

ここを聞きました

- 農業振興について
- ごみの個別収集の実施について

**Q.** 同一敷地内の小学校と幼稚園については、廃園・休園要件を緩和できないか

**A.** 一定規模以下になると教育的効果を考え、次の段階のステップを考えなくてはならない



伊藤 泰樹

ここを聞きました

- 市内中学校の部活動について
- 高梁市幼稚園、こども園、保育園、小・中学校の学用品、制服、体操服について
- スクラム作戦について
- 高梁市立幼稚園と小学校のあり方について

**中学校の部活動について**

**伊藤** 文化系の部活動を希望する者のために全校対象の部活動はできないか。

**教育長** 指導者や交通手段などから難しい。部活動以外の文化系活動などで対応したい。

**市立各園、小・中学校の学用品、制服、体操服について**

**伊藤** 各園、小・中学校の制服や体操服、学用品を統一すれば保護者負担の軽減になるのではないか。

**健康福祉部長** 現在、5つの幼稚園が小学校と体操服を統一している。

**教育長** コストが幾らか安くなると考えられるので、今後の状況を見ながら情報を集めたい。

**スクラム作戦について**

**伊藤** スクラム作戦では要支援児の成長を保護者、学校園、療育機関、行政機関が、連携して取り組み成果が上がっている。これを子ども全員に広げたらどうか。

**市長** 市は母子手帳が交付されてから一人の保健師がずっと寄り添う形の制度を持っている。成長過程で何かあればスクラム作戦で対応できることをまず伝えたい。

**高梁市立幼稚園と小学校のあり方について**

**伊藤** 幼稚園は園児が在籍していれば存続させるべきではないか。

**健康福祉部長** 集団教育は社会性を養えることや、コミュニケーション能力が向上するなどのメリットがあり、一定の園児数が必要と考

- Q.** 決算審査の質疑で新たな行財政改革を行うと答弁しているが、どう進めるのか
- A.** 内部組織で事務事業等を洗い出し、廃止や見直しを行う



宮田 好夫

ここを聞きました

●新年度予算について

――新年度予算について

**宮田** 高梁市財政見直しによると平成31年度から地方債が大きく減額されているが、大型事業は終了したということか。

**副市長** 平成31年度で合併特例債が終わる。過疎債の事業も平成30年度で大きく完了に近づき、起債額や事業費が大きく落ちる見通しである。しかし、最小限の施設整備は必要なので、次期総合計画で明らかにしていく。

**宮田** 平成28年度決算において、経常収支比率が94.2%と高くなつたが要因は何か。

**副市長** 人口減少や合併算定替により歳入が減少したからである。

**宮田** 決算審査の質疑で新たな行財政改革を行うと答弁しているが、

どう進めるのか。  
**副市長** 内部組織で事務事業等を洗い出し、廃止や見直しを行う。

公共施設も類似都市よりも非常に多いので見直しに着手する。素案ができたなら外部委員会で御意見をいただく。

■主な財政指標	(単位：%)		
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
実質収支比率	3.40	3.92	4.23
経常収支比率	86.6	88.6	94.2
実質公債比率	12.0	11.2	11.3

実質収支比率…財政運営の健全性を示す指標。おおむね3～5%が望ましい数値とされる。経常収支比率…人件費・扶助費・公債費などの義務的性格の経常経費に、地方税、地方交付税、地方譲与税がどの程度充当されているかの比率。数字が大きくなるほど財政が硬直化する。実質公債比率…財政の健全化判断比率。早期健全化基準は25%、財政再生基準は35%とされる。

- Q.** がん検診受診率向上の施策は
- A.** 国民健康保険の加入者で未受診の方に再勧奨を行っている



石井 聡美

ここを聞きました

- がん予防について
- 公共施設のスペース利用について
- 成羽複合施設（仮称）について
- 高梁市郷土資料館について
- 高梁市図書館駐車場について

――集落ぐるみでの取り組みに支援を

**石井** がん検診の受診率は向上しているのか。

**政策監** 全国平均に比べると高いが、厚生労働省が目標として掲げている50%には届かない。

**石井** 受診率向上のために、本年度も行っている施策というのはあるのか。

**政策監** 継続的に40歳から5歳刻みで個別にがん検診の無料券を郵送。各家庭に健診ガイドブックの配付。昨年度から、未受診の方に対して受診勧奨を行っている。

今年度からは、国民健康保険加入者で3年間特定健診を受診していない方に対して、がん検診についても受診勧奨を行っている。

**石井** がん検診の受診率を上げる

ために「コール・リコール制度」を導入すべきと思うが、こうしたことは検討されているのか。

**政策監** 国民健康保険の加入者については、9月になっても未受診の方については、昨年からの再勧奨を行っている。社会保険加入者については、これから検討を進めていくべきだと思っている。

**石井** 協会けんぽと連携協定を結ぶ市町村が増えてきている。高梁市でも協定を結んで活動すべきではないか。

**政策監** 協定を結んだ市町村でも、まだ具体的な取り組みに至っていない。協定を結べば何ができるのかも含めて、これから検討していきたい。

※コール・リコール制度…クーポンの配布などで直接、受診勧奨(コール)を行い、未受診者に手紙や電話で再度受診勧奨する(リコール)仕組み

**教育長** 来年からは国の部活動の指導員の配置促進事業が始まるので、積極的に進めていこうと考えている。

**森** 教師の負担の軽減にもつながる外部指導者の採用は考えられないか。

**中学校の運動部活動について**

**健康福祉部長** 高梁認定こども園の整備が第一である。その中で、市民ニーズを含めて十分把握しながら検討していく。

**森** 高梁認定こども園が建設されるのであれば、高梁市街地での病児保育、病後児保育の市民ニーズが高まるのは必然である。しっかりと検討をお願いしたい。

**病児保育、病後児保育について**

**Q.** 加湿器、空気清浄機はインフルエンザの蔓延予防に有効だと考えるが、幼稚園、保育園、こども園の各教室に設置できないか

**A.** 整備について今後十分検討していく



ここを聞きました

森 和之

- 病児保育、病後児保育について
- 幼稚園、保育園、こども園の感染症予防対策について
- 中学校の運動部活動について
- ききょう緑地河川整備の可能性について
- 山田方谷記念館（仮称）の建設について

また、地域のボランティアの指導員の方も借りることも必要である。しっかりと連携していけるように学校にも指導していく。

**山田方谷記念館（仮称）の建設について**

**森** 財政が厳しい高梁市で記念館を建設するのであれば、旧高梁中央図書館を再利用（リノベーション）するのが望ましいのではないかと。

**市長** 良い提案だと思う。旧図書館も博物館法のもとで動いている。その法を逸脱しない内容の利用であれば、記念館としての活用は可能であると考えている。しっかりと前向きに考えていきたい。

**Q.** 過疎や高齢化に対応し、暮らしが維持できる町内会支援制度の策定を

**A.** 支援制度には多数のメニューがあるが、他の福祉や介護の事業との連携も必要



ここを聞きました

石部 誠

- 町内会支援制度について
- 税金の滞納整理について

**町内会支援制度について**

**石部** 新しく始まった町内会支援制度の取り組み状況はどうか。また、寄せられた課題への対応や、運営困難な町内会への支援はどうするのか。

**市民生活部長** 全体の約92%の町内会から提出された内容を見ると、自主防災組織の設立や、緊急連絡網を作成した町内会がある。

また、具体的な町内の困りごとを記入した町内会もあり、出された内容をチェックし検討を進める。

**石部** 防犯カメラや消火栓用設備は、予算が足りなかったと聞くが、どのように対応するのか。

**市民生活部長** 初年度であり希望数が読めなかった。来年度については申請に見合う額が予算要求していると認識している。

**石部** 過疎や高齢化により補助金では支えきれない町内会もある。今後も暮らしが維持できるように施策の策定を求める。

**市民生活部長** 町内会支援制度には多数のメニューがあるが、カバーしきれない事業は社会福祉協議会や介護保険関連の事業との連携も必要と考える。

**税金の滞納整理について**

**石部** 市と協議して税滞納分を計画的に支払っている方に、いきなり差し押さえを行う事業があった。納税者の理由や状況などよく調べ、支払い可能な対応を求める。

**総務部長** 個別の事業は聞いていないが、納税者の生活再建を優先し、滞納相談に当たっていると把握している。

- Q.** 神原スポーツ公園野球場の呼び名を「平松政次球場」に変更して全国にアピールしたかどうか
- A.** 実現可能かどうか研究する



三村 靖行

ここを聞きました

- 防災対策について
- 地域のまちづくりについて

「スポーツ振興について」

**三村** 本市出身の平松政次さんが野球界最高の栄誉である野球殿堂入りを果たされた。高梁市で24年にわたって学童の県大会「平松政次旗学童軟式野球大会」を開催されている。このことを次世代に永く顕彰するため、神原スポーツ公園野球場の呼び名を「平松政次球場」に変更して全国にアピールしたかどうか。

**教育次長** 良い提案であるが、ご本人の同意も必要。実現可能かどうか研究させていただきたい。

**三村** 「平松政次旗学童軟式野球大会」を24回開催しているが大会運営に苦勞している。補助金の増額はできないか。

**教育次長** 教育委員会は共催し、

また体育施設の使用料の減免もしている。引き続き、共催者として運営には協力するが、補助金の増額は考えていない。

「建設行政について」

**三村** 市道上に立木、竹、草等が覆いかぶさって通行、通学に支障をきたしているが、市はこのことをどのように受け止めているのか。

**市長** このことはよく理解している。地権者の承諾を取りながら業者委託も含め、解消していきたい。

**三村** 今年の建設事業費が大幅に減額となっているが、来年度予算はどのような見通しなのか。

**市長** 普通交付税の大変厳しい状況にあるが、いろんな制度を活用し、予算の確保をしていきたい。

- Q.** 酪農生産者への助成について酪農生産性向上緊急対策事業の補助(50%)の補助残に市として、助成を検討してはどうか
- A.** 基本的には、機械設備の導入には助成制度はなく、認定農業者などに対しての5年間無利子融資などを活用してほしい



黒川 康司

ここを聞きました

- 酪農生産者への助成について
- 成羽地域の複合施設整備に伴う跡地について

「酪農生産者への助成について」

**黒川** 国の酪農経営体生産性向上緊急対策事業は、後継者などの労働負担を軽減するため、搾乳機口ボットなどの導入に際し国庫補助金上限3000万円（補助率50%以内）を助成する制度である。市が国の補助金の残額部分に助成できないか。

**産業経済部長** 現在、市には助成制度はないが、その他の制度、後継者への奨励金、近代化資金、認定農業者への5年間無利子融資などの制度を有効活用してほしい。

「成羽地域の複合施設整備に伴う跡地について」

**黒川** 旧成羽高校跡地の複合施設整備に伴う各保育園跡地の活用処

分をどのように考えているのか。

**教育次長** 跡地利用については、まだ具体的に何も決まっていない。売却も含めあらゆることを想定して検討する。

**黒川** 鶴鳴保育園の駐車場には、昭和28年に開館した美術館があった。その取り壊された美術館の宮本隆氏作のレリーフが、地域局に保存されている。先人たちの功績を顕彰し、歴史を伝えるため、レリーフの設置が行えないか。

**教育次長** 美術館の保存を願う有志の方々より、レリーフの設置を要望され、平成24年に地域局長名で回答している。多くの方の賛同を得て、まちづくりの事業として取り組まれるのであれば、市として支援させていただく。

**教育次長** 引き続き直営で行いたい。天然芝の管理は業務委託を考  
えている。

**小川** 管理運営について、神原ス  
ポーツ公園の全体の管理は直営で  
行うのか。

**教育次長** 神原スポーツ公園多目  
的グラウンドの愛称については、企  
業からのネーミングライツ事業の  
活用も含め、広く一般市民に公募  
していくつもりである。

**小川** 平成30年2月に竣工予定の  
神原スポーツ公園総合スタジアム  
について、名称は決まっているの  
か。また、愛称「(例)シャルム・  
スタジアム」を一般から募集する  
のか。

**スポーツ関連施設の管理、運  
営と課題について**

**Q.** 神原スポーツ公園総合スタジアムの愛称を一般から募集するのか

**A.** 企業のネーミングライツ事業の活用も含め、広く一般市民に公募していくつもりである



ここを  
聞きました

小林 重樹

- スポーツ関連施設の管理、運営と課題について
- 高梁市公共施設等総合管理計画について
- 平成30年度の予算について

**小川** 国が基本計画を策定し、全  
国の市町村に少なくとも一つは設  
立することと国の指定を受けてい  
る、総合型地域スポーツクラブ「ピ  
オーネ」の現況はどうなっている  
のか。

**教育次長** 「ピオーネ」は、平成20  
年に設立された、生涯スポーツ分  
野において活動する団体である。  
会員数は181人で教室は14あり、  
延べ7366人の方が参加されて  
いる。事務所は高梁市勤労青少年  
ホームの事務室にある。

**川上** マイナンバー  
マイナンバーカードの  
普及促進について

**市長** 潜在保育士の掘り  
起しをして、多方面か  
らのアプローチをかけ早  
急に対応したい。

**川上** あらゆる対策を総動員して  
保育教諭の確保に全力を  
挙げるべきではないか。

**市長** 仕事の負担を軽減するため  
に事務処理等については関係課と  
連携して支援を行う等検討してい  
きたい。

**保育教諭の働き方改革について**

**Q.** マイナンバーカードを活用した母子健康情報サービスに取り組むべきではないか

**A.** 子育て情報を発信できる電子母子手帳の導入を検討する



ここを  
聞きました

川上 博司

- 保育教諭の働き方改革について
- マイナンバーカードの普及促進について

**川上** 保育教諭の働き方改革につ  
いてはどのように取り組んでいく  
のか。

**政策監** 個人向けサイトのマイナ  
ポータルを活用した母子健康情報  
サービスの提供を視野に入れてい  
るが、まずは廉価で対応できる母  
子健康手帳アプリの導入を検討し  
ている。

ドの付加価値向上の一つである母  
子健康情報サービスに取り組むべ  
きではないか。

千葉県松戸市のチラシ

※1 ネーミングライツ事業…市と企業等との契約により、対象施設等にネーミングライツを設定し、その対価を得る事業。

※2 マイナポータル…政府が運営するオンラインサービスで、子育てに関する行政手続きがワンストップでできたり、行政からのお知らせが自動的に届いたりする。

**Q.** 人口減少対策のために、地域ごとに目標を設定して取り組むべきではないか

**A.** 地域ぐるみの取り組みに対して支援を行っており、危機感や課題の共有、目標設定を行い、アクションにつなげている



石田 芳生

ここを聞きました

- 定住対策について
- 公共施設整備について
- 所有者不明の不動産について

定住対策について

**石田** 新総合計画における目標人口等の達成度はどの程度か。

**市民生活部長** 平成31年に3万3000人とする目標は達成が困難である。一方で人口の社会動態の面では、人口減少幅が4分の1になり、平成28年度はマイナス9人に止まり、ほぼ0に近づいた。合計特殊出生率は1・67で、目標値を上回った。子育て施策や定住支援策が結果に結びついている。

**石田** 市内全人口ではピンとこないが、地域ごとに、ある程度の人口規模を維持していくための目標を設定して取り組むべきではないのか。

**市民生活部長** 地域ぐるみの移住者受入の活動に対して支援を行っ

ており、危機感や課題の共有、目標設定を行い、アクションにつなげている。地域の主体性を育むことが大切であり、先進地での手法を取り入れたり、全国表彰を受けた宇治地域の事例を紹介したりして啓発にも努めている。

公共施設整備について

**石田** 公共施設等総合管理計画によると、今後、インフラを含む公共施設の維持管理や整備に使える予算が限られてくるとのことであるが、市民の理解を得られるのか。

**総務部長** 今後さらに踏み込んだ形で再編整備計画を検討していきたい。進捗状況については、節目ごとに市民の皆様や議会にお伝えしていく。

**Q.** 都市機能を維持するため、人口密度を維持するための施策はあるのか

**A.** 都市機能にかかる施策は、福祉施設、観光交流施設などについては国の活用可能な制度があるので活用していく



森上 昌生

ここを聞きました

- 立地適正化計画について
- 友好都市との交流について
- 高梁市図書館の現況について

立地適正化計画について

**森上** 都市機能を維持するため、人口密度を維持するための施策はあるのか。

**産業経済部長** 現在、人口密度を維持するための国、県の制度はないが、都市機能にかかる施策に関しては福祉施設、観光交流施設などについては国の活用可能な制度があるので活用していく。また、平成32年度からの新たな総合計画に組み込んでいく。

友好都市との交流について

**森上** 筑西市出身の陶芸家、板谷波山の作品展を高梁市成羽美術館において開催できないか。また、同時にしもだて美術館において児島虎次郎展を開催してはどうか。

**教育次長** 以前、交流展の話があったが、当時は互いの準備が整わず見送った。時間はかかるかもしれないが、今後検討していきたい。

高梁市図書館の現況について

**森上** 午後5時以降、利用者の極端に減る4階のキッズスペースに、視覚障害者に対し相対での読み聞かせスペースといった目的別の専用スペースがつかれないか。

**教育次長** 他市の図書館では、専用スペースを設けているところがある。しかし、そうした専用スペースは利用しないうちはデッドスペースとなる可能性があり、本市の場合は多目的室を有効に使っていただきたいと思っている。

**政策監** 5000平方メートル以上の開発を行うときは市の環境保全条例による届け出、3000平方メートル以上であれば、開発事業の調整に関する条例による届け出が必要で、その際、相手と話し合うことができる。しかし、3000平方メートル未満の場合には公的な規制はない。来年度からは、国が太陽光発電に関するガイドラインを作り、規制を強化する状況にあると聞いている。

**市長** 成羽複合施設（仮称）建設にあたって寄付の申し出がある。寄付者は音楽ホールを要望されている中で、汎用性の高い多目的ホールで理解をいただいた。老朽化した二つの施設を統合することによりランニングコストが下がる見込みであり理解いただきたい。

**太陽光発電設備の設置による問題について**

**倉野** 山林を切り開いて太陽光発電施設が設置されている。豪雨時には土砂災害の危険が高いものもあり、市として規制や指導はできないか。

**成羽複合施設（仮称）について**

**倉野** 成羽地域局と成羽福祉センターを統合した複合施設の計画が進んでいる。これは老朽化した施設を統合し、更新するもので理解できる。新施設にはホールの計画があるが、現在、ホールは市街地に二つ、川上町、有漢町にそれぞれ一つあり、今後のランニングコストも含めて考えると、新たにホールを作る必要があるのか。

**Q.** 成羽複合施設（仮称）にはホールの計画があるが、新たにホールを作る必要はないと考える

**A.** 寄付者は音楽ホールを要望されており、汎用性の高い多目的ホールで理解をいただいた



ここを聞きました

- 道路管理について
- 本市の土地開発について
- 第3次行財政改革と成羽複合施設（仮称）について

総務文教委員会・管内行政視察

11月21日に松原小学校・宇治小学校・福地小学校・玉川小学校の高梁市内の小規模小学校を訪問し調査聞き取りを行いました。

過疎と少子化により生徒の集団学習への弊害や、配置される教員数が少ないことによる学校運営の苦労話、そういった中できめ細やかな指導や、各校の環境を生かした特徴ある取り組みなど説明を受けました。校舎や普通教室・図書館や音楽室など特別教室を見学、あわせて学校隣接の児童クラブも訪問しました。

また校舎設備においては雨漏りが見受けられたり、集会室の網戸設置要望や浄化槽排水路の詰まり改善などの要望も出され早速解決へと具体化されました。



校舎見学 校舎内の集会室



松原小 図書室

防災ラジオ



耐久年数を過ぎた防災行政無線の代わりに、新たに「防災ラジオ」を配備するという計画は、平成29年3月定例会で審議されました。3月定例会では、市長所信において表明され、予算が可決されたことに基づき、5月頃までに公共施設や避難所に200台を配備を完了することが決定しました。今年度は、備中地域と成羽地域管内を対象として6月から申し込みの受付がされ、ラジオ本体は無償貸与、保証料もいただかない形で11月6日から成羽・備中地域局を窓口として、配布が始まりました。

防災ラジオの配布状況

	備中地域	成羽地域
対象世帯 (5/31)	997世帯	1,957世帯
申し込み世帯 (~10/10)	767世帯 (76.9%)	734世帯 (37.5%)
引き取り世帯 (12/28)	710世帯	627世帯

成羽・備中地域においては12月1日から本格運用が開始されています。防災無線が運用されていた備中地域においては、現在まで運用されていた防災行政無線が廃止になるため、行政サービスの低下につながるよう、午前6時30分と午後8時に定時放送が流れます。お悔やみ、出生、各コミュニケーション行事等の放送が午後8時10分から380字以内で配信されています。将来的には、平成30年度に高梁地域、平成31年度に有漢地域・川上地域でも導入される予定となっています。なお、成羽・備中地域で今回申し込みができなかった世帯に対しては、来年度の申込受付がされるということです。

編集後記

平成29年も押し詰まった中、議会広報公聴特別委員会では「議会だより」2月号のための原稿作りに追われています。12月定例市議会では定住、子育て、教育問題などさまざまな質問が各議員よりなされ、執行部との活発な論議が展開されました。いま市民の皆さんが一番関心を持たれている問題は1億円の未払金の問題だろうと思います。現在この問題は地方自治法第100条によって議会の中に調査特別委員会が組織され、問題の原因究明に当たっています。調査特別委員会の調査報告を待って「高梁市議会だより」でも、できるだけ市民の皆様に分かりやすい形でお伝えできればと思っています。議会広報公聴特別委員会ではできるだけ市民の皆さんと同じ目線で問題に取り組んでいこうと思っていますので、ご意見、要望などお聞かせくださるようお願い致します。(森上昌生)

編集

- 議会広報公聴特別委員会
- 委員長 宮田好夫
  - 副委員長 石田芳生
  - 委員 石部 誠
  - 委員 石井聡美
  - 委員 森上昌生
  - 委員 森 和之
  - 委員 伊藤泰樹